

《担当者名》金盛直茂（看）

【概要】

経済学は初めての方が多くと思います。経済学は、今を生きるために必要な道具です。決して学者や官僚の方々だけが知っていれば良いものではありません。この企業に入社すべきなのか？この人と結婚すべきなのか？いま、家は建てるべきなのか？人生の重大な選択の際、経済学はあなたに示唆を与えてくれます。

本授業で経済学を学ぶことによって、現実の様々な問題（身近な日常的な問題から社会保障制度まで）を、経済学的思考で、考えることができるようになるでしょう。

【学修目標】

1. 経済学（主に、ミクロ経済学とマクロ経済学）の基礎を習得し、資本主義経済の仕組みを理解することです。
2. 経済学の基礎をもとに社会保障制度を概観し、社会保障の問題に対して経済学的視点で説明することができることです。

【学修内容】

| 回  | テーマ     | 授業内容および学修課題                               | 担当者  |
|----|---------|---|------|
| 1  | ガイダンス   | 経済学とはどのような学問かを理解する。                       | 金盛直茂 |
| 2  | 経済の仕組み  | トレードオフと機会費用を使って、様々な市場に応用する方法を学ぶ。          | 金盛直茂 |
| 3  | 経済の仕組み  | 需要と供給から市場を理解する。                           | 金盛直茂 |
| 4  | 経済の仕組み  | 市場の失敗と政府の役割を理解する。                         | 金盛直茂 |
| 5  | 経済の仕組み  | GDPとはどのようなものかを学ぶ、日本のGDPはどれほどかを理解する。       | 金盛直茂 |
| 6  | 日本の社会保障 | 少子高齢化と社会保障制度                              | 金盛直茂 |
| 7  | 日本の社会保障 | 日本の公的年金の基本的な仕組みを説明できる。                    | 金盛直茂 |
| 8  | 日本の社会保障 | 賦課方式を積立方式のそれぞれのメリットとデメリットを説明できる。          | 金盛直茂 |
| 9  | 日本の社会保障 | 日本の公的医療保険制度の基本的な仕組みを説明できる。                | 金盛直茂 |
| 10 | 日本の社会保障 | 公的医療保険制度がなぜ必要なのかを説明できる。                   | 金盛直茂 |
| 11 | 日本の社会保障 | 日本の所得格差の推移と要因を理解できる。                      | 金盛直茂 |
| 12 | 日本の社会保障 | 絶対的貧困と相対的貧困について概説できる。                     | 金盛直茂 |
| 13 | 日本の社会保障 | 日本の生活保護制度の基本的な仕組みを説明できる。                  | 金盛直茂 |
| 14 | 日本の社会保障 | 日本の生活保護制度の課題を概説できる。また、ベーシックインカムについて説明できる。 | 金盛直茂 |
| 15 | 総括      | 講義のまとめ。                                   | 金盛直茂 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

小テスト40%、期末試験60%で評価します。小テストを毎回の授業で課し提出してもらいます。小テストは、次回の授業にて返却し、授業内で小テストの解説を行います。

【教科書】

安岡匡也 『経済学で考える社会保障制度 第2版』中央経済社 2021年

【参考書】

マンキュー 『マンキュー入門経済学 第3版』,東洋経済新報社, 2019年

安岡匡也 『経済学で考える社会保障制度』,中央経済社, 2017年

伊藤元重 『入門経済学 第4版』,日本評論社, 2015年

中谷武、中村保 編『1からの経済学』, 碩学舎, 2010年  
細谷圭・増原宏明・林行成『医療経済学 15講』、新世社、2018年  
安岡匡也『少子高齢社会における社会政策のあり方を考える』、関西学院大学出版会、2018年  
駒村康平・山田篤裕・四方理人・田中聡一郎・丸山圭『社会政策－福祉と労働の経済学』、2015年  
小塩隆士『社会保障の経済学 第4版』、日本評論社、2013年  
河口洋行『医療の経済学 第3版』、日本評論社、2015年

**【学修の準備】**

復習：授業終了後に小テストと課題を提示します。小テストと課題に取り組むこと（80分）。

予習：関連した文献、記事を提示するので、読んでおくこと（80分）。

**【ディプロマポリシーとの関連性】**

(DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

(DP5) 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。